

令和元年度「犬山市の子どもたち」

平成31年4月18日に「全国学力・学習状況調査」が行われました。対象学年は、本年度の小学校6年生と中学校3年生です。調査の内容は、小学校6年生は国語と算数、中学校3年生は国語と数学と英語の3教科です。さらに、質問紙による学習状況や生活の様子についても調査が行われました。この調査から見えてきた、犬山の子どもたちの状況をお知らせします。各学校においては、それぞれ自校で調査結果を分析し、個人票と合わせて保護者にお知らせしています。

1 犬山市全体の正答率を全国平均と比べて

学 年	国 語	算 数
小学校 6 年生	ずいぶん低い	ほぼ全国並み

学 年	国 語	数 学	英 語
中学校 3 年生	ほぼ全国並み	ずいぶん高い	やや高い

2 学習指導要領の領域等（評価の観点）

学年	〈国語〉	〈算数・数学〉	〈英語〉
小 6	・話すこと・聞くこと ・書くこと ・読むこと ・伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	・数と計算 ・量と測定 ・図形 ・数量関係	
中 3	・話すこと・聞くこと ・書くこと ・読むこと ・伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	・数と式 ・図形 ・関数 ・資料の活用	・聞くこと ・読むこと ・書くこと ・話すこと

3 学習に関する傾向

小学校 6 年生

国語は、話すこと・聞くことは全国平均を上回る結果となっています。また、読むことはよくできています。しかし、情報を相手に分かりやすく伝えるために記述の仕方を工夫することや、自分の考えの理由を明確にしてまとめて書くことは苦手です。

算数は、数量や図形についての知識・理解は身に付いています。また、グラフから資料の特徴や傾向を読み取ることはよくできています。しかし、数学的な考え方を問われる問題に弱点が見られます。


中学校 3 年生

国語は、言語についての知識・理解・技能は身に付いています。また、文章に表れているものの見方や考え方について自分の考えをもつこともできています。しかし、同じ読む能力でも文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えることは苦手です。

数学は、数量や図形などについての知識・理解が特に優れています。また、確率を求めたり、表から読み取ったりする力もあります。

英語は、書くことについて、接続詞や一般動詞の二人称単数現在時制の疑問文はよく理解しています。聞くことの領域もよくできています。また、日常的な話題について簡単な語句や文で書かれた内容は読み取る力があります。

4 個人票の見方（例：「算数」の個人票）



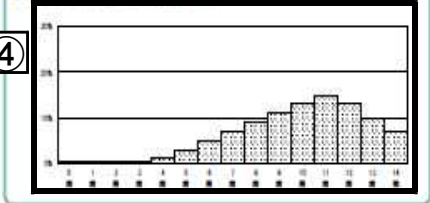
① 全問題中の正答数
【全国平均正解数 9.3問】

学習指導要領の領域	正答数	全国の平均正答数
A 数と計算	7	4.8 / 7
B 量と測定	3	2.0 / 3
C 図形	2	1.6 / 2
D 数量関係	7	5.3 / 7

② 領域別等の正答数

問題形式	正答数	全国の平均正答数
選択式	5	3.9 / 5
短答式	5	3.9 / 5
記述式	4	2.4 / 4

③ 問題形式ごとの正答数



④ 調査を受けた全国の児童の正答数を表したグラフです。一人一人の児童の正答数に該当するグラフが濃い色で表示されています。

⑤ <結果>
正答：○ 誤答：× 無解答：—

⑥ <全国の正答率> (%)
全国で調査を受けた児童の正答率

⑦ <問題形式>
選択：選択式の問題
短答：語句や短文、数式・数値で解答する問題
記述：自分の考えをまとめたり、理由を答えたりする問題

問題番号	問題の内容	正答率	学習指導要領の領域	問題形式	
1	(1) 長方形を直線で切ってきた図形の中から、有影を選ぶ	90.2	4	*	選択
	(2) 二つの異なる有影を、ずらしたり、回したり、 ^{対称} 裏返ししたりして、同じ長さの辺どうしを合わせてつくることのできる形を選ぶ	60.5	4・5	*	選択
	(3) 引き算の式が、赤された形の装飾をどのように求めているのかを、数や計算の要す内容に留意して書く	44.1	5	*	記述
2	(1) 1980年から2010年までの、10年ごとの市全体の水の使用量について、棒グラフからわかることを選ぶ	95.2	3	*	選択
	(2) 2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の約何割かを、棒グラフから読み取って書く	70.8	3・4	*	短答
	(3) 二つの棒グラフから、一人当たりの水の使用量についてわかることを選び、選んだわけを書く	52.3	3・5	*	記述
	(4) ^{水の} 洗濯と歯みがきで使う水の量を求めるために、 $6 \div 0.5 \times 2$ を計算する	60.4	4	*	短答
3	(1) $350 - 97$ について、引く数の97を100にした式にして計算するとき、ふさわしい数の組み合わせを書く	81.9	3	*	短答
	(2) 引き算の計算の仕方についてまとめたことを基に、わり算の計算の仕方についてまとめたことのようになるのかを書く	31.3	3・4	*	記述
	(3) わられる数とわる数にかけるとわる数を選び、 $600 \div 15$ を計算しやすい式にして計算する	75.0	4	*	短答
	(4) $1800 \div 6$ は、何割分の代金を求めている式といえるのかを選ぶ	47.1	3・5	*	選択

5 学習状況や生活の様子について

質問紙による結果から、小中学校ともに次のような状況がうかがわれた。

- 住んでいる地域の行事に参加している。
- 新聞を読んでいる。
- 読書があまり好きではない。

【犬山市における今後の取組】

- 読解力向上プログラムに基づいて図書館活用を促進し、各学校が工夫し、すすんで読書に親しむ子どもを育てます。
- RSTなどの具体的な指標を基に、学ぶ楽しさ、分かる喜びを味わうことのできる子どもの育成を目指し、授業改善をさらに進めます。
- 学習において問題を読み解く力、読解力の育成を図ります。
- コンピュータ等ICTの整備と活用に努め、教員のICT機器の活用研修をさらに進めます。
- 自ら課題を発見し、解決策を見い出すことを繰り返すことによって、自分で計画を立てて学習に取り組める子どもの育成を図ります。

〈担 当〉 犬山市教育委員会 学校教育課
 〈電 話〉 0568(44)0350
 〈電子メール〉 070200@city.inuyama.lg.jp